

新居関所周辺 まちづくり通信

vol.8

発行：新居関所周辺活性化協議会
発行日：平成24年4月15日
事務局：湖西市新居町新居 1190-3
TEL 053-594-0540
(小松楼まちづくり交流館内)
URL： <http://a-machinet.org/>

新居関所周辺活性化協議会

計画の最終案が了承されました。

3月29日に新居関所周辺活性化協議会が開かれ、これまで「まち部会」「商い部会」で検討された計画案が関所周辺活性化計画として了承されました。

活性化計画では、次の大きな目標と3つの実行計画の柱を立て、短期・中期・長期の目標を定めて進めていきます。進めるためには、市や関係機関、そして何よりも市民のみなさんの協力が不可欠です。今後とも協力をよろしくお願いいたします。

●目標 ~こんなまちにしていきます！~

江戸時代より受け継がれたまちの文化、地域資源を活かし、新居関所周辺に住む人、あるいは町と関わる人々が、このまちにたいして愛着と誇りを共有し、たくさんの人たちが交流することでまちの価値を育てていくことができる地域を目指します。



関所を核に地域の「暮らし」を豊かにすること、来訪者が町の魅力を体験する「もてなし」の2つの側面で構成します。

実行計画の3つの柱

その1 「新居から世界へ」PRプロジェクト

— 特別史跡である関所を核としたPR事業やイベントを通して、新居の魅力や地域資源を住民が自ら発信していきます。

その2 新居まち歩き物語

— 住民が主体的に町の資源を磨いて、つなげて、町を楽しく歩く仕組みを提案し、新居の食や特産品等と商いと結びつけ、着地型観光として商品化を目指します。

その3 町なか賑わいづくり拠点プロジェクト

— 町なかに住民や観光客が集まり、花火や新居文化を体験でき、情報を共有できる拠点づくりや、食や特産品をつかった事業を展開することで、まちに賑わいをつくりだします。

平成27年度までが勝負です！！

作成した計画では、関所のリニューアルの完成が新居の全国発信はもとより、住民が魅力的な町に住んでいる誇りに目覚める時であると位置づけています。今回の計画で、平成27年までに市民が出来ること、市や関係機関にお願いすること、市民と行政が協働で行うことを整理したので、できることから実施していきます。

短期（平成24～27年度）目標と計画

※具体的なアクションプランはホームページをご覧ください。

PRプロジェクト

(1)楽しみながら学ぶまちづくり環境の整備

- 市民がまちづくりに興味を持つきっかけをつくります
- 市民が知っている町良さを発掘し、発信します

(2)子どもから大人まで誰もが町の宣伝（PR）大使

- 新居小学校の親善大使と地域住民をつなげる支援を進めていきます
- パンフレット等既存の情報発信ツールの見直し(設置場所も含め)ます

(3)関所発信イベント

- リニューアルオープンに向けた催しを企画していきます
- 交通の要所など人の往来の高い場所に発信ツールを整備していきます



新居まち歩き

(1)くらしのなかの町歩き推進事業

- 地域の祭と町歩きを連携します
- 町歩きルートをつくり、市民交流ツアーを企画します

(2)食と歴史と文化をつなげた四季の町歩きルートづくり

- 新居の食と歴史が堪能できる新しい散策コースを設定します

(3)来訪者を誘客する仕組みづくり

- 地域の良さを見つけ、発信することができる市民ガイドを養成します



賑わい拠点

(1)「手筒花火なら新居」の環境づくり

- 手筒花火の無形文化財指定を支援していきます
- 町なかを散策する来訪者に「花火の町」の印象をもつ仕掛けをつくります

(2)空地を活用した関所周辺のにぎわいづくり

- 既存施設や空地等を活用し、情報発信や市民が集える環境をつくります

(3)食や特産品などを活用したにぎわいづくり

- 町の特産品、食、土産マップなどつくり食べる、買える環境をつくります
- 商工業者と連携の仕組みをつくり、新居の特産品PRについて検討します

(4)関所や大門整備を活かした賑わいづくり

- 関所や大門、電線地中化等の整備内容を理解し維持管理について提案します



今後の予定

この計画策定・まちづくり通信の発行は、平成23年度合併市町村組織活性化支援事業の助成で行ってまいりました。今後はプロジェクトごとに実行チームをつくり、計画を進めるとともに通信もできる限り発行できるように頑張ります！「新居まちネット」のホームページ等では随時お知らせしますので、ご期待ください。